第 25 号
2018 年 7 月 13 日
(平成 30 年 7 月 13 日)

ソムリエの風

特定非営利活動法人
奈良まほろばソムリエの会会報紙

発行　特定非営利活動法人
奈良まほろばソムリエの会
広報グループ
〒630-8001
奈良市法華寺町 254-1
株式会社奈良ロイヤルホテル内

鈴木理事長が勇退、豊田新体制がスタート！

本年 6 月 17 日（日）、当会は奈良ロイヤルホテルで平成 30 年度総会、講演会、懇親会を開催しました。

総会の出席者は 300 人（うち表決委任者は 125 人）、なお 会員総数は 387 人。本総会で鈴木浩理事長は退任を表明、7 月 1 日（日）の理事会で、豊田敏雄副理事長が新理事長に就任しました。（専務理事 鉄田 憲男）

豊田新理事長の挨拶（7/1 理事会）

総会、講演会、懇親会を開催

当日は総会のあと、森下惠介氏（前奈良市埋蔵文化財調査センター所長）による講演会「大寺の成立と展開～飛鳥から平城へ～」（会員 175 人、一般 20 人が参加）、そのあと懇親会を開催しました。

来賓として折原英人氏（県観光局長）と一色昭宏氏（毎日新聞奈良支局長）をお迎えし、それぞれ冒頭でご挨拶をしていただきました。

森下惠介氏によるご講演（6/17）

一色支局長によるご挨拶（6/17）

入会説明会・合格祝賀会を開催

4 月 14 日（土）、今回で 2 回目となる標記の会を南都銀行西大寺銀行クラブで開催しました。出席者は 76 人（うち今回ソムリエ合格者は 54 人）と大盛況でした。

露木基勝さんの講演（4/14）

奈良の歩き方「特別講座」を開催

当会は毎月 1 回（第 3 日曜日）、ナラニクル（奈良市観光センター）で「奈良の歩き方講座」という 90 分の歴史講座を開催しています。

本年 3 月 18 日（日）、新年度に向けてこの講座を広く PR するため、1 日で 9 コマ（各 90 分）の講座を 3 会場で開催する「特別講座」を初めて開催しました。事前にたくさんのお申し込みをいただき、また飛び入りもあり、どの会場も大入りの盛況でした。

石田一雄さんの講演（3/18）

旭堂南青さんがソムリエに合格

本年 1 月 7 日（日）に実施された奈良検定で、講談師の旭堂南青さんが「奈良まほろばソムリエ」に見事合格！2 級からストレート合格、しかも男性の最年少合格者でした（7 ページ参照）。

南青さんは当会に入会され、現在はガイドグループで腕を磨いておられます。「ゆくゆくは、オリジナルの奈良の講談も作りたい」と意欲満々です。

喜びの南青さん（奈良テレビ「ゆうドキッ！」3/23 に生放送）

今年も体験学習プログラムに協力

法隆寺宝物館（東京・上野 6/2）

今年も当会は奈良検定の「体験学習プログラム」に講師を派遣。「Nara 観光コンシェルジュと巡る」で 5 本（東京・法隆寺宝物館、今井、飛鳥、吉野山、馬見古墳群）、「奈良まほろばソムリエと歩く」で 4 本（奈良町と柿の葉ずし体験、御所まち、安倍文殊院、王寺）です。

元興寺周辺をガイド（6/15）

一般的なガイドや講話にとどまらず、奈良検定の受験対策や参考図書の紹介など、多岐にわたり受講者をサポートしています。

西川誠さんの応募名称が採用

西川さんの喜びの表情（4/24）

4 月 24 日(火)にオープンした「ミ・ナーラ」2 階の衣料・雑貨フロアの名称は「市祭合祭(いっさいがっさい)」。この名称は当会の西川誠さんの応募作品です。副賞として「JTB 北海道 3 泊 4 日のペア旅行」が贈呈されました。

おめでとうございます！

吉野川分水の思い出を新聞に掲載

雨量の少ない奈良盆地では、水量の豊富な吉野川（紀の川）の水を引くことが悲願でした。

江戸時代の 1700 年頃には、名柄（御所市）の庄屋・高橋佐助が構想を練りましたが実現しませんでした。

それが戦後の復興計画のなかで「十津川・紀の川総合開発事業」として 1949 年（昭和 24 年）に着手、1974 年に主要施設が完成、全ての事業が完成したのは 1987 年（昭和 62 年）でした。

天理市に生まれ、川上村に嫁いだ会員の前田景子さんは、その思い出を奈良新聞（5/29 付）に投稿されました。末尾にその記事を紹介しておきます。

かるたが「ふるさと納税」返礼品に

本年 1 月に制作して大人気の「奈良まほろばかるた」が、本年 7 月、5,000 円以上の寄附でもらえる奈良市「ふるさと納税」のお礼の品に選ばれました。

奈良市のホームページには「子どもたちに奈良の歴史・文化を知ってもらいたい、との思いで制作した

好評の「奈良まほろばかるた」

『奈良まほろばかるた』。奈良の歴史は日本の歴史です。遊びながら、楽しく学んでいただければと思います」と紹介されています。

当会にはリクエストが続々！

古事記（倭建命）ツアー（4/18）

当会には行政や旅行エージェントなどから、たくさんのリクエストをいただいています。

これからも当会は多彩なアウトプットに取り組んでまいります。

雑記帳

吉野川分水

前田　景子

小学校の頃、田んぼの真ん中で南北に水路を造る工事が行われていた。ほどなく工事の人が消え、出来上がった水路を水が走るようになり、大人たちが「吉野川からの水が奈良まで流れるようになってんで」と教えてくれた。吉野川がどこにあるのかさえも知らなかった小学生が、50年後にはその源流に暮らしている。

雨の少ない奈良盆地はため池が多く、水争いも絶えなかった。日本一の多雨地帯の大台ケ原がありながら水を大和盆地に送ろうとすれば「それはならん。水利権はこちらにあり、水害と渇水に長年耐えてきたんだ」と和歌山県が反対する。

昭和24年、十津川・紀ノ川総合開発が始まる。熊野川水系の水を猿谷ダムで紀ノ川にも流すようにし、大迫ダム、津風呂ダムを建設し、吉野川分水は完成した。大和の悲願と紀州の苦闘の歩み寄りは、紀伊山地の雨の流れを変えて成されたといえる。

大台ケ原に降った雨は、吉野川へと流れ込む。大迫ダム、大滝ダムをくぐり、そのまま和歌山に流れるもの、大淀町下渕頭首工から分水されるものに分かれ、吉野川分水は始まる。トンネルを通り御所へ。ここで葛城方面と高取方面に水は分かれていく。水田の大動脈だ。

これからは田植えの時期になり、水がどんどん送られる。吉野川のきれいな水がおいしい米を作る。イモリも育つ。ナスも花を付ける。

雨が降った翌日の吉野川が好きだ。筏（いかだ）を流した割滝と滝の岩の間を水がとうとうと流れるさまは、薄緑色の龍がうごめいているようにも見え、人間の英知を超えたものを感じる。自然のありがたさは今を潤し、生活を潤し、人の心を潤し、未来をも潤す。

（川上村・60歳）

題字は東大寺長老・故清水公照師

奈良新聞の記事（5/29 付）

新理事長・前理事長ご挨拶

この度私は、会員の皆さまの推挙を受け理事長を仰せつかりました。もとより浅学非才でありこの様な大役を全うできるか不安な面も多々ございますが、会員の皆様のご支援を受けながら努めてまいる所存です。

今年は戌年。「戌」という字は「成」に１画欠けています。従って、よい戌年になるか、悪い戌年になるか、新任理事長としましては不安な１年となりそうです。

ただ、「戌」の字の頭の、は成長の種です。会員の皆さま一人一人が種から芽を出し、枝を伸ばし、花を咲かせる。ソムリエの会の発展は、会員皆様の活躍無くしてはあり得ないと考えます。よい戌年にするためにも、まずは会員の皆さまが活動しやすい環境づくりを目指してまいります。奈良まほろばソムリエの会が、大きく羽ばたく礎の年となりますよう、理事一同、精一杯頑張りますので、よろしくご支援、ご協力をお願い申し上げます。

◎各理事の担当役務を紹介します。（敬称略　Ｇはグループ）

副理事長
（事業調整担当）雑賀　耕三郎
（講演講座担当）小野　哲朗
専務理事　鉄田　憲男
事務局長　東田　好史
ガイドＧ担当　稲田　英二
啓発Ｇ担当　大山　惠功
保存継承Ｇ担当　久門　たつお
歴史探訪Ｇ担当　池内　力
広報Ｇ担当　柏尾　信尚
女性部担当　道﨑　美幸
総務担当　松森　重博
会計担当　石田　一雄
組織担当　橋本　厚
書記担当　清水　千津子
監事　露木　基勝、清水　多喜雄
尚、顧問は、小北　博孝、木村　三彦、鈴木浩の３名です。

（理事長　豊田　敏雄）

この度、第三期理事長として平成 28・29 年度の事業運営に専心して参りましたが、会員皆様のご協力により大過なくその任を終えることができ感謝申し上げます。

在任中は 8 グループへの拡大、新入会員の増加策、事務局の効率化、事業体制の整備など組織の充実に取り組み、一定の成果を得たのではないかと思っています。

また、3 年前から始めました「記紀万葉シリーズ講演会」は、県下各地を巡回しつつソムリエ大会として多角的且つ斬新な講演会として開催し、目標の 10 回目がこの 11 月に完結し感無量です。

最近、本会への信頼度が増し外部団体からガイドを始め各種講座の講師依頼、毎日新聞の連載記事の執筆など、多彩な人材群が多様な事業に活躍しています。

こうした本会の活動が評価され、昨年 2 月には全国の新聞社が共催する「第 7 回地域再生大賞」優秀賞に選ばれ栄誉に預かりました。

奈良の歴史・文化・自然を愛するひとりとして、微力ながら奈良の地域の振興に更に貢献して参りたいと考えています。

会員諸兄におかれましては、引き続きご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げ、私の退任の挨拶とします。

（前理事長　鈴木　浩）

新任理事紹介

（ガイドＧ担当理事　稲田　英二）

稲田と申します。

2012 年に「ソムリエの会」に入会以来 6 年間「ガイドグループ」で活動して参りました。

「ソムリエらしいガイド］とは？「楽しく・わかりやすいガイド」とは？と自問自答しながらの日々ですが

多くの方々に「奈良の本当の素晴らしさ」を伝え、「もっと奈良を好きになって貰おう！」をモットーにこれからも頑張って参ります。

（保存継承Ｇ担当理事 久門 たつお）

「奈良の歴史・文化をもっと知りたい」との思いでソムリエ試験を受け、合格は４年前。所属グループは保存継承と啓発です。

生まれは大阪。「職」は新聞記者として大阪、奈良などで勤務し、「住」は奈良市で 30 年余り。奈良通には道半ばですが、どうぞよろしくお願いします。

（歴史探訪Ｇ担当理事　池内 力）

姫路市生まれで今も姫路市に住んでいます。奈良が好きで、毎週のように来ています。

この 4 月から勤務が週 3 日になったことから、理事をお引き受けすることにしました。担当は歴史探訪グループです。この会の活動充実に向けて力を尽くしたいと思いますので、よろしくお願いします。

（広報Ｇ担当理事　柏尾 信尚）

ガイドグループに所属し、斑鳩をホームグランドとして活動しています。この度新しく理事となり、広報を担当することになりました。まさに青天の霹靂とはこのことをいうのでしょう。

典型的なアナログ人間で、デジタル機器にはいつも苦労しております。何とか皆様のお荷物だけにはならぬよう努めます。よろしくお願いいたします。

（会計担当理事　石田 一雄）

ならまちで育った私は、東京、京都各 7 年ほどの生活を終え、奈良へ帰ってきたところ、ちょうど始まった検定を受けソムリエに合格、結成されたソムリエの会に最初から参加しました。会ではガイドグループに所属しているほか、新聞寄稿や講座活動にも参加しています。よろしくお願いします。

（組織担当理事　橋本 厚）

理事就任に際し、改めて 387 名という会員の皆様の『勢い』を肌で感じているところです。一方、業務の効率化や風通しの良さも、今まで以上に求められるのではとも思っております。

与えられた期間、精一杯頑張る所存でございます。皆様のご指導、ご鞭撻よろしくお願い致します。

（監事　清水 多喜雄）

この度監事に就任しました清水多喜雄です。住まいは桜井市で、定年後２度目の勤めをしています。

前職では総務と経理の業務を担当していましたので、会の活動や会計の監事として少しはお役に立てるのではと思っています。

グループ活動は啓発Ｇに所属しています。よろしくお願いします。

レアスポット　～香芝市穴虫の街並み～

近鉄大阪線二上駅に降り立つと、北側ロータリーの向こうに旭ヶ丘ニュータウンが広がり、東側の丘陵斜面には、高山台の美しくガーデニングの施された住宅が立ち並んでいます。まさに、大阪のベッドタウンです。

ところが、南側の狭い道に入ると、まるで江戸時代にタイムスリップしたかのような街並みに出会います。

穴虫集落の街並み

古代、河内から大和に入る大坂道がこの穴虫集落を通り、近世まで街道筋として賑わったそうです。そのため、旧街道沿いには、橿原の今井町に見られるような商家風の建物が続いています。

また、集落の中には、大和棟を持つ母屋と、土蔵や社を長い築地塀で取り囲んだ、重厚な屋敷も多く見られます。これは、二上山の麓にあるこの地が、研磨剤の原料となる金剛砂の産地で、これを用いた製造業が栄えていたことによるそうです。

入り組んだ路地を歩いていて、江戸の学問所を思わせる扁額（写真）に目を引き付けられました。ご近所の方の話によると、木綿商、医師の傍ら趣味人でもあったこの家の主が、作品を公開すべく煙出し付きの母屋を修復しながらも力尽き、今は空き家となっているとのこと。無念です。

学問所を思わせる扁額

香芝市唯一の国宝「威奈大村骨蔵器」の出土地の真横で、屯鶴峯や当麻寺へも徒歩圏内です。

ぜひ一度穴虫迷路に迷い込んでみて下さい。

（大谷 巳弥子）

ソムリエ合格体験記

「へー、なかなかよう勉強しとるなぁ」、我が家を訪れていた弟との会話の中で、奈良の歴史や社寺仏閣についてかなり詳しく蘊蓄を語る弟の姿に感心した私の率直な感想でした。聞けば『奈良検定』でソムリエ級に合格したとのこと。しかし当時の私は『奈良検定』自体の知識も少なく「頑張っとるな」程度の感想しか抱いていませんでした。

数年後、いよいよ私も定年を迎え、契約社員として仕事を続けるも単身赴任解除となり奈良に帰れる事となりました。表向きの責務も大幅に軽くなり、セカンドライフ充実のため、何かを始めたいなと考えていたところ、弟が言っていた『奈良検定』に思いが至り、挑戦することを決めました。

2 級までは自習で何とかなりましたが、１級に進み内容も専門的になり手を焼いていた時、弟から講座への誘いを受け公民館通いが始まりました。お陰様で１級、ソムリエ級と合格し、この度皆様のお仲間に入らせて頂く事が出来ました。ご教授頂いた講座Ｇの方々には心よりお礼を申し上げます。

ちなみに私に奈良検定挑戦のきっかけをくれた弟が講座 G の西川誠です。聞けば兄弟でソムリエ級合格は初めてとの事、あの幼かった弟（６歳違い）の講座Ｇでの活躍を目の当たりにして、知らずのうちにリスペクトの念が深まりつつある中、今後兄弟での活動がどの様な化学反応を起こすのか私自身も興味津々です。

さて今後に於きましてはまだまだ力不足を自覚しつつ、大好きな奈良の様々な事柄に興味を持ち、気付き（築き）を重ね年齢相応にゆっくりと成長できればと思います。　接する方々の沢山の笑顔に出会えるよう研鑽を続けてまいります。　　**（西川 年文）**

ソムリエ合格体験記

今年、夫婦で奈良まほろばソムリエ検定に合格ができて大変嬉しく感じている。

秘訣は何かと聞かれれば、歴史の趣味が夫婦共通であり、二人で補完しながらの合格であった。試験とは実力があっても合格できないこともあり、運よく勉強したところが出題されて合格できる場合もある。その運を授けていただいたのがソムリエの会であったと思う。

即ち、限られた時間内に如何に効率よく勉強するかは、学習方法やその準備要領にある。まず、それまでに歴史名所の現地に赴き、記憶に銘記しておくことが大変重要だ。

その後は検定１か月前までに覚えるべき範囲の内容を大学ノートにまとめ、記述の暗記と実際に漢字で書いては記述練習を繰り返し行う、試験トレーニングに尽きる。その根底を支えるものは歴史に興味と関心を持つことにある。歴史上の人物の心理やその時の行動が史実となり顕れている。その不思議さが興味を喚起し、学習の原動力に繋げる。

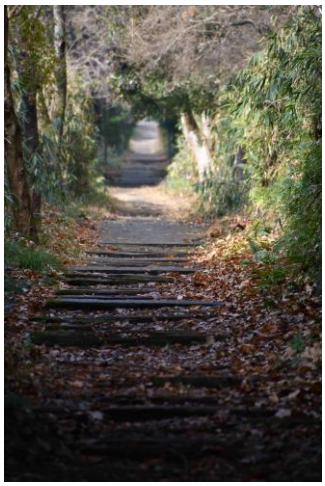
奈良はその歴史の宝庫の場所と云える。例えば、なぜ檜原神社を元伊勢というかなど不思議さを感じること。すべては当時の生きていた人物心理の歴史産物に他ならない。人がいるから記録が残り、足跡をまとめると歴史になる。歴史学習は実に素晴らしい。

家内に言わせると二人で学習したことで食事や時間のことを考えず、色々と史跡巡りできたことが良かった様である。

最後に、この検定が自分自身の生涯学習であると考え、自分に適した歴史テーマの課題や老化防止策の設定等を想い、個々の検定学習を深めることが最良の勉強方策ではなかろうか。

（池田 隆彦・喜代）

シリーズ「奈良県の鉄道遺産」



枕木が残る廃線跡の遊歩道

寅で有名な信貴山を目指す鉄路は、現在大阪側の「信貴山口」と「高安山」を結ぶ「西信貴ケーブル」が残っていますが、かつては奈良県側にもケーブルがありました。

近鉄生駒線「信貴山下」と山上の「信貴山」を結んでいた「東信貴鋼索線」、通称「東信貴ケーブル」は、大正 11 年に当時の「信貴生駒電気鉄道」が開通させ、毘沙門天を祀る朝護孫子寺への参拝客を運んでいました。その後近鉄に吸収されましたが道路の開通などにより利用客が減少し、昭和 58 年 9 月に廃止となりました。

ホームにケーブルの部品が展示されている「信貴山下」の駅前に立つと、真っ直ぐに登る舗装道路が、線路跡とすぐにわかります。

西和清陵高校の前から廃線あとは、遊歩道に変わり、足元には当時使われていた枕木がそのままステップとして残っています。遊歩道を進むと切通しや放置されたレール、橋梁などが残り、登り切った山上側の終点「信貴山」駅跡はバスの待合室となっており、壁には当時の路線図も残っています。

三郷北小学校に保存されている ケーブルカー

ここで活躍していた車両は三郷北小学校内にきれいな状態で保存されており、敷地外からでも見ることができます。**（小林 誠一）**

シリーズ「うまいん奈良」

茶がゆ定食

大淀町の「吉野大淀日干（にっかん）番茶」を使った町おこしグルメの紹介です。大淀町のお茶栽培の歴史は古く、江戸時代以前より盛んに行われて来ました。中でも番茶は摘み取った茶葉をよく蒸した後、揉まずにじっくりと「天日干し」にするのが大きな特徴です。

道の駅吉野大淀町 i センター内「レストランときん」の「日本一香ばしい奈良の『夢』茶がゆ定食」は、2018 年奈良大立山まつりのあったかもんグランプリで審査員特別賞を受賞した一品です。番茶餅が入った茶がゆ、吉野川で採れた鮎を炙って作った鮎味噌、柿の葉寿司、番茶のジェラートなど、地元の素材と番茶を生かした食事が手軽に味わえます。

この定食の監修をした大淀町下渕の老舗「割烹 鮨亀」では本格的な番茶の創作料理をいただくことができます。番茶に漬けた鮎の一夜干しや、おこげの番茶あんかけ、番茶パウダーを練り込んだそうめんなど。番茶と奈良ブランド食材を組み合わせたこだわりの料理が楽しめます。

大淀町は古くから多くの人々が往来し、吉野路の玄関口として栄えて来ました。日本書紀にも登場する吉野寺の法灯を受け継ぐ世尊寺や、遥か山上ヶ岳を望む峠の頂上に残る石塚遺跡など、修験道ゆかりの史跡も数多く残されています。「吉野大淀日干番茶」と共に大淀町ならではの味と文化に触れてみてください。

おこげの番茶あんかけと、 鮎の番茶一夜干し

◇レストランときん（定休日：火曜日）
奈良県吉野郡大淀町芦原 536-1
（吉野路大淀 i センター内）
電話：0747-54-5364

◇割烹 鮨亀（定休日：月曜日）
奈良県吉野郡大淀町下渕 361-7
電話：0747-52-6008

（道崎 美幸）

ソムリエ合格体験記

奈良検定との出会いがくれたもの

私と奈良検定との出会いは2015 年の秋。夫の仕事の都合で奈良に引っ越してきたばかりのころ、本屋でその存在を知った。奈良を知るきっかけにと軽い気持ちで受け始めのだが、宮城県出身の私は、奈良の由緒ある地名や名だたる寺社仏閣、古墳などにしだいに魅了されていき、奈良検定はそれらを学ぶ格好の先生となった。

1 級までは、公式テキストと過去問、認定支援セミナーなどの助けを借りて何とかなった。とはいえ文字だけで得た知識も多く、いざソムリエを目指すにあたってはどうしたものかと途方に暮れる状態だった。記述式も苦手で、特に最後の観光計画に関する問題は恐怖だった。

藁にもすがる思いでセミナーを受け、先生が解説した飛鳥に的を絞り、夫を道連れに真冬の閑散とした飛鳥を歩き回った。遺跡をめぐりながら田んぼ道をひたすら歩くというコースである。このとき初めて、飛鳥ののんびりとした原風景のなかに日本の歴史を動かした古代のロマンを、確かに見た気がした。初めて観光に「想像力」というものが加わったのだ。

点と点を線で結ぶ楽しさ。歴史や背景を知れば、今目に見える以上のものが見えるようになる。そうすれば、奈良の魅力は何倍にも膨らむ。それを、3 年かけて奈良検定は教えてくれた。

豊かな知識と経験、そして何よりも奈良への深い愛をお持ちの先輩方。そんな方々と仲間になることができて、とても心強い。

これからソムリエにふさわしい実力をつけていけるよう、人生の先輩方にたくさん学びつつ、いろんなことにチャレンジし、自分なりの興味や関心も深めていきたい。

（梶尾 怜）

ソムリエ合格体験記

私は現在の生業が「講談師」でして、絶えず講談のネタをはじめとして、関連する物事を暗記しております。其の為、奈良検定の勉強で用いる『奈良県の歴史散歩（上下巻）』を、何度も読み返し、覚え直す事は苦ではありませんでした。寧ろ知らない事を知る楽しさがありました。2 級 1 級は此の勉強法で対応できるのですが、「ソムリエ」となると記述問題が50 点を占めます。

まず心を砕いたのは「どの様にして現在まで培った知識を立体的に表現するか」です。其の為、過去問の記述で「自分の型」を作り出す為に、年末年始は文豪の如く原稿用紙を使い、其の折、一つの問題で 200 字、400 字どちらも対応出来る様に考えて鉛筆を走らせました。そこで気が付いたのは、200 字は如何に「情報を圧縮」し、400 字は如何に「(圧縮した)情報を抽出し組み立てる」か、という事です。

更に仕事の為、奈良県の現場に足を運ぶ事が難しく、そこで世間で出回っている奈良県の観光名所本を参考にして、初心者向けの基本的な奈良県の観光案内を叩き込んだ上で、これ以上は神仏の加護とばかりに、菅原道真誕生の地として伝承がある「菅原天満宮」へとお参りに寄せて頂き、五角（合格）鉛筆を手に入れ、試験に挑みました。

本番は時間配分が要です。知識を総動員し、始めに記述の問題を埋めてから、四択に取り掛かりましたが時間ギリギリになりました。手も汗で濡れます。ハンカチの用意は欠かせません。そして終了後、記述の誤字脱字を思い出し落ち込みます (笑)。それほど緊張しました。

（旭堂 南青）

シリーズ「大和の伝統行事」

東安堵の六斎念仏（安堵町）

午後２時頃　高塚の観音堂前で
念仏を唱えた後終了（2017/8/14）

生駒郡安堵町東安堵に伝わる六斎念仏は融通念仏宗の檀家で組織する「大宝寺六斎講」により、盆行事と月毎の営み、葬式で唱えられる民間の念仏です。(奈良県指定無形民俗文化財に平成３年３月８日指定。県内には他に御所市東佐味、奈良市八島があります)

お盆の念仏は８月 13 日から 15 日にかけて行われますが、8/13 は共同墓地(郷墓)の阿土墓で念仏、8/14 の檀家を巡る鉦念仏、8/15 は御布施開きとなっています。

8/14 は早朝から講員が８名全員黒衣に和袈裟姿で鉦を持参して大宝寺に集合し、ご本尊の前でシンバンドウ（「南無阿弥陀仏」の名号に様々な抑揚をつけて鉦で調子を取りながら繰り返し、９番まであります）を唱和し、その後町内の檀家約 110 件を訪問します。

酷暑の中の檀家訪問後、午後２時前に町の南方にある高塚の「観音堂」に集合しユウズウエコウ（「光明遍照十方世界念仏衆生」から始まり念仏の功徳を説く）を唱えて終了です。

今年のトピックスとして、10 年余り前より鉦のリズムが指定当時から変化し、何とか元に戻そうという活動を「夢あかり（安堵会）実行委員会」代表の胡内正幸氏を中心に音楽家の入江知子先生の指導の下昨年から取り組んできましたが、この度、音合わせが実施されました。

2018. 6. 18　入江先生と講員の
音合わせの様子

今年のお盆から元のリズムで檀家回りが実施される予定です。

（保存継承グループ・亀田　幸英）

第 10 回 シリーズ講演会開催のお知らせ

開催日：平成 30 年 11 月 3 日（土）
場　所：大和高田市　さざんかホール
演　題：古代葛城氏の神話・神社・寺院
講　師：平林　章仁氏（元龍谷大学歴史学科教授）
詳細は決まりましたらホームページ等でご案内致します。」

みなさんぜひ
ご参加ください

＜編集後記＞

8 ページの拡大号です。楽しんでいただけましたでしょうか。広報グループは、今号から新体制となりました。引き続き楽しい会報紙となるよう取り組んでまいりますので、よろしくお願いします。

（広報Ｇ）大谷・柏尾・梶尾・川原・窪田・小林(誠)・雑賀・沢田・田中（敏）・豊田（敏）・永井・中村・廣岡・二上・松森・吉川

特定非営利活動法人　奈良まほろばソムリエの会

事務所所在地：〒630-8001　奈良市法華寺町２５４－１
株式会社奈良ロイヤルホテル内

ホームページ：http://stomo.jp/
メールアドレス：info@stomo.jp
つれづれ日記（ブログ）：http://nara-stomo.seesaa.net/

HP の QR コード